

JR東労組第47回定期中央委員会開催!!

中央委員会スローガン

「新生JR東労組運動宣言」を掲げて1年!

厳しい情勢下のもと、組合員の雇用と利益を守るために、
 「雇用と職場を守るためのJR東労組緊急提言」の実践を更に強化し、
 一人ひとりの実践によって、JR東労組を再確立しよう!

2月9日に行われた、JR東労組第47回定期中央委員会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が終息せず、政府から「緊急事態宣言」が発令されていることから、今回初めてリモートでの開催となりました。

秋田地本からは、3名の委員が参加し、大会以降の運動の経過と、次期定期大会までの運動方針や暫定予算、協約・協定の締結状況などについて確認し、各職場での運動の報告と、今後取り組む様々な運動課題をどうやれば実践できるのかということについて様々な視点から議論しました。課題が多く、厳しい運動課題



委員として参加した。
 地本 泉委員長
 地本 富山書記長 (発言)
 弘前 齋藤書記長

が山積するものの、「労働組合が必要だ」ということを、離脱者にも訴え、職場から全組合員が参加する運動を進め組織を再確立させることの必要性が確認できた中央委員会でした。

仲間を支え助け合い、 仲間と共に組織拡大を進めよう!!